

5月5日(金祝)

H31 10:00 AM

石川県箏曲連盟

藤倉秀代 横笛

藤間信乃輔 日舞

斎藤千霞 書

ルドヴィート・カンタ チェロ

安島愛里 フルート

八橋検校 六段の調より

ドヴォルザーク ユモレスク

ブラームス ハンガリー舞曲

沢井忠夫 黒田節による幻想曲

邦楽とのコラボはこの音楽祭ならではの。ドヴォルザークやブラームスが、箏の音色で新たな表情を見せ、沢井忠夫の黒田節幻想曲では箏曲の調べに包まれる。石川県箏曲連盟が奏でる箏に、横笛、日舞、書まで加わる舞台で、さまざまな角度から「邦楽の愉しみ」をたっぷり味わう。

H32 12:40 PM

ハンガリー・ジプシー・バンド (スターライト・トリオ)

トラディショナル マジャールノータ・チャールダーシュ

ブラームス ハンガリー舞曲 第5番

フバイ チャールダーシュの情景 第4番 作品32「ヘイレ・カティ」

(チェロ独奏)

サラサーテ ツィゴイネルワイゼン 作品20

(ツインバロン独奏)

シェレシュ 暗い日曜日

トラディショナル チャールダーシュ

モンティ チャールダーシュ

ガルデル タンゴ「首の差で」

トラディショナル ひばり

シュトラウス2世 ラデツキー・マーチ

ハンガリーのジプシー・バンド、スターライト・トリオが登場！ ヴァイオリン、ツインバロン、チェロによる、本場ならではのジプシー音楽。彼らが“クラシックのジプシー風作品”を奏でれば、そこに濃厚な情熱が湧き上がる。

H33 3:30 PM

渡邊荀之助、渡邊茂人、川瀬隆士、渡邊さくら 能舞

中村香耶 モダン・バレエ

マルティン・シュタットフェルト ピアノ

江野泉 能管

鈴木絵里奈 指揮

ガルガン管楽アンサンブル

中村豊 演出

ムソルグスキー 展覧会の絵

プロムナード

I. グノーム (小人)

プロムナード

II. 古城

プロムナード

III. テュイルリーの庭 (遊びの後の子供たちの喧嘩)

IV. ブイドロ (牛車)

プロムナード

V. 卵の殻を付けた雛の踊り

VI. サミュエル・ゴールデンベルクとシュムイレ

プロムナード

VII. リモージュの市場 (大きな知らせ)

VIII. カタコンベ (ローマ時代の墓)

死せる言葉による死者への呼びかけ

IX. 鳥の脚の上に建つ小屋 (パーバ・ヤーガ)

X. キーウの大門

渡邊荀之助の能舞で、ムソルグスキー「展覧会の絵」全曲を体験する。能舞とバレエで10枚の絵を表現するということで、どんな世界が現出するのか。ピアノを世界の第一線で活躍するマルティン・シュタットフェルトが担当するのも注目で、そこに管楽器と能管も絡む。目にも耳にも新たな発見に満ちる時間になる。

H34 6:10 PM

ウィーン・チェロ・アンサンブル 5+1

スメタナ 《売られた花嫁》より 道化師の踊り

リムスキー=コルサコフ 熊蜂の飛行

ラフマニノフ ヴォカリーズ

ボルヌ カルメン幻想曲

チャイコフスキー ロココの主題による変奏曲 イ長調 作品33

世界最高峰の楽団のチェリストが集う「ウィーン チェロ・アンサンブル5+1」。屈指の音色とアンサンブル力でさぞやノーブルな演奏を…と思ったら、抱腹のパフォーマンスも惜しげもなく披露！ とにかく楽しさを追求する。本公演も「道化師の踊り」「熊蜂の飛行」など、なにやら楽しげな曲が。ライブでは思わぬ展開もあるかも?!